

B-9

遠野市

遠野市



#遠野物語 #ホップ #ビール #遠野スタイル

「ホップの里からビールの里へ」

～地域資源を活用した地域創生！～

柳田國男の『遠野物語』で知られる遠野市。民話のふるさととして、「語り部」によって多くの昔話が今に語り継がれています。なつかしい口調で語られる昔話は、変化の激しい現代社会の中で、わずかに残された日本の習俗と文化と言えます。

周囲を山々に囲まれ、どことなく異世界観すら漂わせる遠野市は、地域づくりの面でも独自性際立つ「遠野スタイル」のまちづくりに取り組んでおり、ビールの里構想もその一つに掲げられます。

冷涼な気候に恵まれた遠野市は、ビールの原料となるホップの栽培に適しているものの、遠野産ホップの生産量は年々減少しています。

そこで遠野市では「ビールの里構想」を掲げ、市内の農家やレストラン、JAや岩手銀行、農林中央金庫とホップの生産拡大に取り組んでいます。さらに、キリングループやJR東日本の協力のもと、国産ホップの生産拡大やブランド価値の向上、地域活性化などにつなげていく計画です。

地域資源であるホップを活かした地域創生のチャレンジが、大勢の人々の手によってスタートしました。

